

報道関係各位

2024年10月23日

## 未来の建設を支えるアクティオの最先端商品をご紹介 大阪 DL センターで「レンサルティングフェア」を開催しました

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2024年9月12日(木)~13日(金)の2日間、アクティオ大阪 DL センターで、最先端商品を紹介するイベント、レンサルティングフェアを開催し、約880名が来場しました。



### ■アクティオ DX ショールーム大阪 ~アクティオの建設 DX を紹介~

大阪 DL センターに設置されているアクティオ DX ショールーム大阪は、現場の情報をすべて集約し、「現場のことがすべてわかる」をコンセプトにしています。リアルタイムで現場の全容を把握するため、複数のモニターを活用します。クラウドカメラによる現場のライブ映像を映し、別のモニターでは先週の現場の様子を投影するなど、過去の映像記録、気象情報、機械の稼働状況、BIM データなどを同時に表示します。これにより、工事の進捗管理や安全確保が効率化され、建設業界の DX を加速させ、現場の「見える化」を実現します。



現場での DX ショールームのイメージ画像



クラウドカメラによるライブ映像



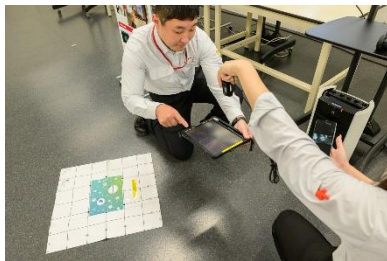
気象情報映像

## ■アクティオの通信・ICT を紹介

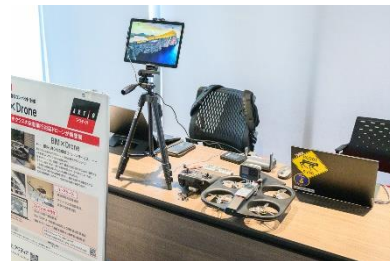
通信や ICT 技術を活用した現場の安全管理と効率化を推進する商品を展示しました。AI カメラで熱中症リスクを判定する「カオカラ」、出来上がった構造物の中の鉄筋を探索する「鉄筋探索機 GP8800」、屋内点検用 ドローン「BIM×ドローン」など、作業員の安全確保と建設現場の生産性向上に貢献します。



カオカラ



鉄筋探索機 GP8800



BIM×ドローン

## ■ドローン・環境商品・重機の紹介

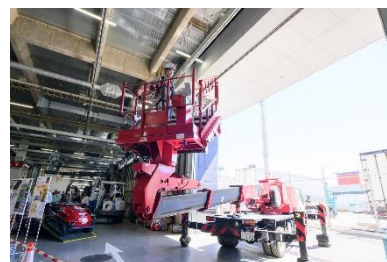
最大 30kg まで運搬可能なドローンを展示しました。以前行った実証実験では、咲州から海を渡り、夢洲の万博工事現場まで資機材を運びました。エア式養生シート「すぼっと Q」は、竹中工務店、朝日機材、アキレス、アクティオの4社で開発した、粉塵飛散防止ができる商品です。付属のコンプレッサーで空気を送り込むと自立するエアフレーム型のため、3 分もあれば設置が可能です。「トンネル点検プラットフォーム」は、トンネルの点検・補修に特化した車両です。最大の特徴としてデッキ部分が階段状に変形し、トンネルのR部分にアプローチしやすくなります。これらの商品は、省人化、環境保護、生産性向上に貢献し、建設業界に新たな可能性をもたらします。



ドローン



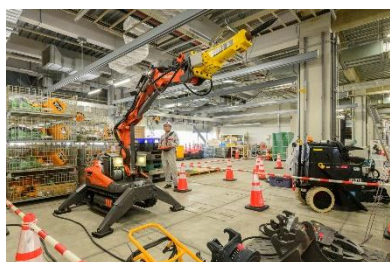
すぼっと Q



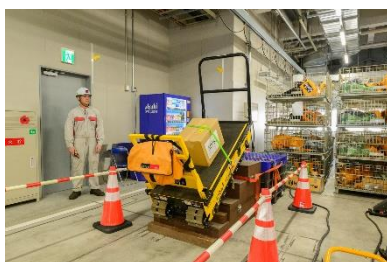
トンネル点検プラットフォーム

## ■電動式建設機械

電動遠隔解体ロボット、バッテリー式運搬台車、搭乗式床材剥がし機など、遠隔で操作できる解体機械、内装解体などで使われる環境面に優れた商品を展示しました。電動遠隔解体ロボットは、Bluetooth 通信で 50m 程度まで遠隔操作が可能です。バッテリー式運搬台車は、電源が無い現場でも重量物を移動できます。最大登坂は40度、斜面での積載は500kg、平地では1tの積載が可能となります。バッテリー式の搭乗式床材剥がし機は、P タイルなどを力強く剥がすことができ、100Vで充電ができ、8 時間から 10 時間の長時間作業が可能です。



電動遠隔解体ロボット



バッテリー式運搬台車



搭乗式床材剥がし機

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸

すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp